



入学生への祝辞

2025年4月2日 奈良大学史学会

入学生への祝辞 目次

1. 先生方からの祝辞・・・p. 3～

足立 広明先生

海津 一朗先生

奥本 武裕先生

河内 将芳先生

木下 光生先生

高橋 博子先生

宮本 亮一先生

村上 紀夫先生

森川 正則先生

山口 育人先生

山崎 岳先生

渡辺 晃宏先生

2. 奈良大学 史学会学生委員からの祝辞・・・p. 13～

入学おめでとう！

これからみなさんは、歴史学の園に分け入ってそれぞれの眼を開く「知恵の木の実」を探す旅に出ることになります。この園では「知恵の木の実」は禁断の実ではなく、食べると罰する厳格な神もいません。むしろ積極的に探すことが求められています。

しかし、その実はどこにあるのかわかりません。先生に聞いても、先生の見つけた、先生にとっての「知恵の木の実」とあなたのそれとはたぶん違うと思います。それに見つけたところで大しておいしくもなく、苦い味がするのかもしれない。しかし、それを食べると物事を見通す眼が開けます。それは目立つところではなく、さんざん探したあげく、足元に転がっていたどんぐりがそうだったという日が来るかもしれません。さあ、あなた自身の「知恵の木の実」を探す旅に出かけましょう！

足立 広明

奈良大学史学科にようこそ。

私も今年来たばかりなので、いっしょにたくさん謎を見つけよう。

一日一謎発見（解けなくてもよいので）。

海津一朗（日本中世史 元江戸っ子）

入学おめでとうございます。

歴史を学んだり、研究したりすることで、今まで知らなかったことを知ることができ、それはすごく楽しいことです。学びのなかで身につけたスキルや考え方は、皆さんのこれからの人生をきっと豊かにしてくれるはずです。奈良大学という恵まれた環境のなかで、存分に歴史の学びを楽しんでください。そのうえで、私たちが生きる「今」という時代についても、思いをめぐらせてほしいと望みます。

奥本 武裕

新入生のみなさん

ご入学おめでとうございます。

これから4年間、だれに遠慮することなく、おもいきり歴史の話をしていきましょう。

そして、学んでいきましょう。

在学生・教員一同、みなさんといっしょに学んでいきたいと思えます。

よろしくお願ひします。

河内 将芳

史学科へのご入学、おめでとうございます！

奈良大には、質量ともに超一級の蔵書を誇る図書館があります。また、奈良県内には、古代から近現代に至るまで、おもしろい遺跡やら史跡やら博物館やらが、たっぷりあります。

史学科に入ってから4年間は、下向いて、スマホばかり見て、Bluetoothでシャバと隔絶した生活を送らないで、ルックアップして、イヤホンを目からはずして、自分の頭と五感をフル回転させて、歴史学の面白みを「体感」してください。

木下 光生

入学、おめでとうございます。

奈良大学は「国際的視野に立つ開かれた大学として、地域社会との連帯を深めながら、ひろく人類社会の平和と発展に貢献する」ことを教学の理念としています。史学科には地球を一周できるほど幅広い領域の世界史の教員と、古代から現代までの日本史の教員がいます。史学科で学ぶことで世界的、そして時代を超えた視野で考えることができるようになることと思います。また卒業論文に向けて自分にとって大事なテーマに取り組むこととなります。

大学生活はこれまでの生活と大幅に変わることと思います。そうした中で、さまざまな新しい嬉しい出会いと共に、さまざまな不安なことに出会うことと思います。そうした時、どうか抱え込まないで、さまざまな方法で相談の機会がある、ということ

心に留めていてください。みなさんが安心して充実した大学生活が送れるよう、サポートしてゆきたいと思います。

みなさんと奈良大学で歴史の探究ができることを楽しみにしています！

高橋 博子

ご入学おめでとうございます。

いまは、期待、不安、戸惑いなど、様々な感情が交錯していることでしょう。あせる必要はありませんので、少しずつ新しい環境に慣れて下さい。

史学科に入学したのですから、積極的に歴史の勉強に取り組んで頂きたいですが、大学生活は歴史の勉強が全てではありません。語学、スポーツ、歴史以外の学問、アルバイトなど、少しでも興味のある事は、何でもチャレンジして下さい。挑戦せずに後悔しても何も得られませんが、例え失敗したとしても、挑戦すれば、何か得られるものが必ずあります。人生で、大学の 4 年間ほど自由に自分の時間を使える時期はありませんよ！

若さという武器を最大限に活用して、充実した大学生活にして下さい。

これから 4 年間、みなさんと一緒に勉強できることを楽しみにしています。

宮本 亮一

新入生の皆さんへ

みなさん、ご入学おめでとうございます。

奈良にある国宝の数は東京、京都について、全国で3番目に多い県です。数多くの文化財や史跡がある奈良の地にみなさんをお迎えできることを嬉しく思います。

私が大学進学のために故郷を離れて京都に来た時には、誰も知らない初めての土地で一人暮らしをすることへの不安もありましたが、しばらくすると町中に教科書に出てくるような歴史的な事件の舞台があることに気付いて、夢中になってしまいました。

奈良もまた、ほんの少し足を伸ばせば古墳に神社仏閣など、いくらでも貴重な文化財や歴史的な景観に触れることができる魅力的なところです。

建物、街道、まちかどの小さなホコラ、そして地域の伝統行事まで、すべてが過去と現在を結ぶ貴重な「生きた教材」だといえます。

ただ、その「教材」は向こうから語りかけてくれるわけではありません。私たちが、その声を聞き取る「耳」をもたなければ、何も見えないし、聞こえてこないかもしれませぬ。ぜひ、奈良での4年間で、町を歩き、触れ、感じ、そして書物や史料に記された「知」に接し、歴史を読み解き、景観や文化財の声を聞く力を付けてください。そうすれば、きっと奈良以外のどんな町に行っても、歩くことが楽しくなるでしょう。

学問とは、過去の「知」を基礎にして、自分の視点で物事を考え、問いを立て、答えを探ること。奈良で暮らすなかで接する日常の小さな発見や疑問にも注意を向け、小さな「歴史」を発見していくうちに、高校までに習った「歴史」にとどまらない、歴史学の豊かさ、深さに驚くことでしょう。そんな驚きと発見に満ちた4年間になることを心から願っています。

みなさんのご入学を心よりお祝い申し上げます。これから始まる学生生活が充実したものとなることを心より願っています。

村上 紀夫

新入生の皆さま、ご入学おめでとうございます!教員のひとりとして、心から歓迎いたします。

大学生としての新生活に少しずつ慣れていってもらえればと思います。そして、学びだけでなく、サークル活動・アルバイト、遊び・旅行など、皆さんにとって楽しく充実した大学生活になりますことを祈念しております。

森川 正則

ご入学、おめでとうございます。

日々の生活の中で一つ心がけてほしいことをお伝えします。

それは、一日に一つでよいので、社会で起きているニュースに触れてください。そして、それがどんな事柄なのか、考えてみてください。

歴史を探究する際には、現在、身の回りで起きていることへの関心が基盤となります。

山口 育人

ご入学おめでとうございます。

本学で過ごす四年間は、歴史学という学問の楽しみと奥深さをじっくり堪能する期間となることでしょう。これまでの「歴史好き」から「歴史学徒」へと成長してくれることを期待します。

また、この四年間は、みなさんがこれからの世界を背負っていく本当の意味での大人として、社会に旅立つための準備期間です。みなさんにとって、これまでになかったさまざまな経験が待っていることでしょう。それらを逃さず、新たに自分の道を切り開いていけるよう、しっかりと目を見開いてください。

この四年間が有意義なものとなるよう、私たちも精いっぱい応援していきます。

山崎 岳

奈良大学史学科へのご入学、おめでとうございます。奈良大学の学生としての第一歩をどのような思いで過ごしているのでしょうか？是非今のこの新鮮な気持ちを常に忘れずに、これからの学生生活を送っていただければと思います。

史学科への入学にあたって、みなさんに実践してほしいことがあります。それは活字に親しんでほしいということです。そうはいつでも、活字ってなに？、と思う人も多いのではないのでしょうか。活字に親しむというのは、言い換えれば、積極的に本を読む、ということです。

史学科だからといって、別に歴史の本でなければいけないわけではありません。文学でも、ノンフィクションでも、ジャンルは一切問いません。日本語の文字で書かれた文章、それもできれば定評のある文章に、慣れ親しんでほしいと思います。

良い文章をたくさん読むことは、自分自身の文体の形成に大いに役立つはずですが、本をたくさん読んで、是非よい日本語の書き手になってください。

その際できれば、本は印刷媒体で読んでほしいと思います。最近では、タブレットやスマホで本を読むという人も多いのではないのでしょうか。しかし、紙に印刷された本でなければできないことがあります。それは気付いたことを、自分自身の手で書き込めることです。鉛筆などで手を動かして自分の気付きをメモすること、このことの重要性を私は年を重ねてからやっと気付きました。

学生時代、私は本をきれいに読むことにこだわりがありました。書き込みをしたり線を引いたりということを一切しませんでした。でも、今思うと、私はどうやって勉強していたのだろうと不思議に思います。

本は書棚に飾っておくためのものではありません。あくまでも消耗品です。自分自身が思うように使ってよいのです。もちろん、図書館の本にこれをしてはいけません。図書館から借りた本を本気で読む場合には、コピーを取って、これに書き込みをしながら読みます。これは本気で読むべき本だとわかったら、自分の本を買えば良いのです。

最近本を買わない人が増えています。しかし、本は食事と一緒にです。我々が勉強するための、いや生きていくための糧といっても過言ではありません。私は学生時代本を買い漁りました（実は本と同じくらいの金額をレコード〈これも説明が必要です。今のCDです〉に費やしましたが……）。お蔭で引っ越しでは何度も痛い目に遭いましたが、まあこれは財産ですからしかたありません。みなさんも、これはと思った本は是非自分の本を買ってください。そして、とことん使って使い尽くしてください。

取り留めもない話になってしまいました。書き込みはしなくても構いませんが、本を買う楽しさ、そして本を読む楽しさを知ってほしいと思います。

どうかこれから4年間、奈良という最高の環境で本に親しみ、そして奈良で歴史を学ぶ贅沢を存分に味わっていただけたらと思います。

渡辺 晃宏

ご入学おめでとうございます。大学生活はこれまでの人生とはまた違うものになるため、何かと戸惑うことがあるかと思いますが、大学生活最初の一年を、どうか学びある有意義な物としてください。皆さんのことを、応援しております。

柿沼 遼太

ご入学おめでとうございます。新しい挑戦が待っていますが、楽しみながら一步一步進んでください。多くの挑戦で成長できることを祈っています。

梶清 有希

新入生の皆さん、ご入学誠にありがとうございます。心より歓迎申し上げます。勉強、サークル活動など、奈良大学で過ごす日々は皆さんにとって代え難い貴重な経験となることでしょう。皆さんが自分らしい道を見つけられるよう心から応援しております。ぜひ奈良大学で充実した学生生活をお過ごしください。

川地 由季乃

新入生の皆さん、この度はご入学おめでとうございます。

私自身、つい1年前に入学したばかりですが、大学生活には面白いことやワクワクすることが盛りだくさんです。勉強だけではなく、行事といった他の大学生だからこそしかできないことも思う存分、私たちとともに楽しみましょう！

下濱 穂乃華

このたびは、ご入学誠にありがとうございます。奈良大学という新たな学びの場で、様々な経験を積めることでしょう。実りある学生生活を送れることを心よりお祈り申し上げます。

牧田 華奈

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

大学生活は、自分の興味や関心に挑戦できる場です。授業やサークル、アルバイトなど、さまざまな経験が皆さんを成長させてくれます。

もちろん、悩むことや迷うこともあるかもしれません。そんな時は、友人や先輩、先生方を頼ってください。一人で抱え込まず、周り支え合うことが大切です。これからの大学生活が、皆さんにとって素晴らしいものになることを願っています。

改めて、ご入学おめでとうございます。

山口 桃香

発行日：2025年4月1日

発行者：奈良大学史学会 学生委員